

## 事業評価票（報告団体への支出予算）

|               |   |   |    |     |         |            |         |            |            |          |     |
|---------------|---|---|----|-----|---------|------------|---------|------------|------------|----------|-----|
| <b>1</b>      | <b>私立高等学校海外留学推進補助（生活文化局）</b>              | 団体名 <b>（公財）東京都私学財団</b>  | 区分 | 補助  | 27年度予算額 | 400,000 千円 | 26年度決算額 | 218,551 千円 |            |          |     |
| 事業内容・団体への支出理由 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>本財団は、私立学校への各種補助事業における豊富な経験と実績を活かし、私立高等学校が行う留学に参加する生徒に対し、その参加費用を一定の基準により助成している。本財団の行う事業に対し補助を行うことで、私立高校生の留学を促進し、国際社会で活躍するグローバル人材の育成を支援する。</li> </ul>                          |    |     |         |            |         |            |            |          |     |
| 成果・決算状況等      |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度は、62校、286人に対して、合計216,550,743円の補助を行った。</li> </ul>   |    |     |         |            |         |            |            |          |     |
| 事業実施上の課題      |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>本事業においては、留学期間に応じて50万円、75万円、150万円の補助金額を設定し、1校あたり500万円を申請限度額としている。</li> <li>そのため、75万円または150万円のみ単価で本制度を利用すると、申請限度額まで有効に活用できない場合がある。</li> </ul>                                  |    |     |         |            |         |            |            |          |     |
| 見積概要（局評価）     |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>1校当たりの申請限度額をこれまでの500万円から600万円に引き上げ、学校にとって使いやすい制度とすることで、補助対象者の拡大を図る。</li> </ul>   |    |     |         |            |         | 拡大<br>充実   | 見直し<br>再構築 | 移管<br>終了 | その他 |
|               |   |   |    |     |         |            |         | 28年度見積額    | 400,000 千円 |          |     |
| 財務局評価         |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>予算の範囲内において活用しやすい制度へ改善を図っていることから、妥当と判断し、見積額のとおり計上する。</li> </ul>   |    |     |         |            |         | 拡大<br>充実   | 見直し<br>再構築 | 移管<br>終了 | その他 |
|               |   |   |    |     |         |            |         | 28年度予算額    | 400,000 千円 |          |     |
| <b>2</b>      | <b>東京アスリートの競技力向上事業（オリンピック・パラリンピック準備局）</b> | 団体名 <b>（公財）東京都体育協会</b>  | 区分 | その他 | 27年度予算額 | 274,345 千円 | 26年度決算額 | 281,957 千円 |            |          |     |
| 事業内容・団体への支出理由 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、東京育ちのアスリートの競技力向上を図るため、選手の強化事業を展開している。</li> <li>本協会は東京都におけるスポーツの統一組織として、競技スポーツを発展させることを目的の一つとする団体であり、本事業を協力して行う必要がある。</li> </ul>                 |    |     |         |            |         |            |            |          |     |
| 成果・決算状況等      |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの競技力向上策の成果として、スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会）では総合優勝を果たし、27年度の第70回国民体育大会では総合準優勝、女子優勝（皇后杯獲得）の成績を収めている。</li> </ul>  |    |     |         |            |         |            |            |          |     |
| 事業実施上の課題      |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020大会の目標として、東京育ちのアスリート数をオリンピックは100人、パラリンピックは25人と設定している。目標を達成し、一人でも多くの選手が大会で活躍するべくこれまで以上に競技力向上を図る必要がある。</li> </ul>   |    |     |         |            |         |            |            |          |     |
| 見積概要（局評価）     |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020大会に向け、より個人に着目した選手強化策が急務であり、集中的な強を図る必要があるため、これまで以上にレベルの高い選手を「オリンピック・パラリンピック強化認定選手」として都が選定し、支援を実施する。</li> <li>また、指導者育成事業も立ち上げ、世界レベルの指導者を育成し、アスリートの育成・強化に還元する。</li> </ul> |    |     |         |            |         | 拡大<br>充実   | 見直し<br>再構築 | 移管<br>終了 | その他 |
|               |   |   |    |     |         |            |         | 28年度見積額    | 330,227 千円 |          |     |
| 財務局評価         |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020大会に多くの東京育ちのアスリートが出場できるよう、都としてもアスリートの育成を強化していく必要がある。アスリートに集中的に支援を行っていくために所要額を計上する。</li> </ul>   |    |     |         |            |         | 拡大<br>充実   | 見直し<br>再構築 | 移管<br>終了 | その他 |
|               |   |   |    |     |         |            |         | 28年度予算額    | 333,162 千円 |          |     |

### 事業評価票（報告団体への支出予算）

|               |   |                                  |    |    |         |              |          |            |          |     |
|---------------|---|----------------------------------|----|----|---------|--------------|----------|------------|----------|-----|
| <b>3</b>      | <b>環状第6号線（西五反田・下目黒）整備事業における街路築造委託（建設局）</b>  | 団体名 <b>首都高速道路（株）</b>             | 区分 | 委託 | 27年度予算額 | 1,855,980 千円 | 26年度決算額  | 127,647 千円 |          |     |
| 事業内容・団体への支出理由 | <ul style="list-style-type: none"> <li>東京都が現在推進している区部環状道路の整備のうち、環状第6号線の品川区下目黒二丁目から同区西五反田五丁目までの延長約970mにおいて道路拡幅を行う。本区間は、首都高速中央環状品川線の五反田出入口整備後、本会社へ委託し、復旧工事と併せて連続的に整備を進めることで事業効果の早期発現を図っている。</li> </ul>                |                                  |    |    |         |              |          |            |          |     |
| 成果・決算状況等      | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年3月の首都高速中央環状品川線の開通に伴う、五反田出入口の復旧工事と併せて街路築造工事に着手しており、都と本会社が連携し、効率的な事業執行に努めている。</li> </ul>  |                                  |    |    |         |              |          |            |          |     |
| 事業実施上の課題      | <ul style="list-style-type: none"> <li>本区間は、道路拡幅に伴い沿道地先との高低差処理が生じるため、地元関係者等と調整を図る必要がある。</li> </ul>  |                                  |    |    |         |              |          |            |          |     |
| 見積概要（局評価）     | <ul style="list-style-type: none"> <li>早期の事業完了に向け、街路築造工事及び電線共同溝設置工事を計上する。<br/>&lt;平成28年度実施予定延長 約970m&gt;</li> </ul>   |                                  |    |    |         |              | 拡大<br>充実 | 見直し<br>再構築 | 移管<br>終了 | その他 |
|               |   |                                  |    |    |         |              | 28年度見積額  | 560,000 千円 |          |     |
| 財務局評価         | <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、復旧工事と併せて連続的に整備を進めることで、効率的な事業執行と事業効果の発現を図るため、見積額のとおり計上する。</li> </ul>   |                                  |    |    |         |              | 拡大<br>充実 | 見直し<br>再構築 | 移管<br>終了 | その他 |
|               |   |                                  |    |    |         |              | 28年度予算額  | 560,000 千円 |          |     |
| <b>4</b>      | <b>耐震診断等技術者講習会の実施〔非木造建築物〕（都市整備局）</b>  | 団体名 <b>（公財）東京都防災・建築まちづくりセンター</b> | 区分 | 委託 | 27年度予算額 | 7,974 千円     | 26年度決算額  | 7,199 千円   |          |     |
| 事業内容・団体への支出理由 | <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進にあたり、建築士等の関係団体と連携し、非木造建築物の耐震診断等に係る技術者を育成し、都民に情報を提供する。</li> <li>平成23年度の事業開始以降、耐震関連業務に精通している本センターに委託している。</li> </ul>   |                                  |    |    |         |              |          |            |          |     |
| 成果・決算状況等      | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度は、耐震診断等技術者育成のため、計7回の講習会を実施し、延べ576名が受講した。</li> </ul>  |                                  |    |    |         |              |          |            |          |     |
| 事業実施上の課題      | <ul style="list-style-type: none"> <li>より多くの信頼できる非木造建築物の耐震診断等技術者を育成・登録し、その情報を広く都民に提供していく必要がある。</li> </ul>   |                                  |    |    |         |              |          |            |          |     |
| 見積概要（局評価）     | <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、専門機関や団体と協力のうへ、技術者講習会の実施、講習会実施後に受講済者の名簿を作成し、ホームページに掲載等を行うための経費を計上する。<br/>&lt;平成28年度受講予定者：1,500名&gt;</li> </ul>   |                                  |    |    |         |              | 拡大<br>充実 | 見直し<br>再構築 | 移管<br>終了 | その他 |
|               |   |                                  |    |    |         |              | 28年度見積額  | 8,203 千円   |          |     |
| 財務局評価         | <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震化に向けた取組を推進するために、非木造建築物の耐震化に関する技術者を育成する講習会の実施を耐震診断・補強設計事務所の指定登録機関である本センターに委託することは妥当である。</li> <li>今年度改定される耐震改修促進計画を踏まえ、耐震化の新たな目標に向けた取組を強化していく必要があるため、見積額のとおり計上する。</li> </ul> |                                  |    |    |         |              | 拡大<br>充実 | 見直し<br>再構築 | 移管<br>終了 | その他 |
|               |   |                                  |    |    |         |              | 28年度予算額  | 8,203 千円   |          |     |

## 事業評価票（報告団体への支出予算）

| 5                 | 建築物の耐震性能報告業務委託<br>(都市整備局)  | 団体名   | (公財)東京都防災・建築まち<br>づくりセンター  | 区分 | 委託 | 27年度予算額 | 6,778 千円   | 26年度決算額    | 8,067 千円   |          |     |
|-------------------|----------------------------|---|----------------------------|----|----|---------|------------|------------|------------|----------|-----|
| 事業内容・<br>団体への支出理由 |                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震化推進条例では、耐震診断結果・耐震改修等の実施について、知事に報告しなければならないとしている。</li> <li>上記報告は、事前相談から継続する手続のひとつであることから、都の委託により総合相談窓口を開設し相談時から一貫して業務遂行が可能な上に、耐震化に対する専門的な知識や情報を有している本センターに当該報告処理業務を委託する。</li> </ul>   |                            |    |    |         |            |            |            |          |     |
| 成果・決算状況等          |                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>報告件数の実績は、平成24年度が923件（月平均77件）、25年度が1,496件（月平均125件）、26年度が721件（月平均60件）、27年4月～7月が180件（月平均45件）の水準で推移している。</li> </ul>  |                            |    |    |         |            |            |            |          |     |
| 事業実施上の課題          |                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進するためには、所有者が耐震診断・耐震改修を実施するだけでなく、その結果を集約し、内容を把握管理することにより、適切な診断・改修の実施を支援していく必要がある。</li> </ul>   |                            |    |    |         |            |            |            |          |     |
| 見積概要<br>(局評価)     |                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度から、一般緊急輸送道路沿道建築物についても耐震化率を把握するため、区市町村から助成金申請状況等の報告を受け、データ管理等を行うこととした。</li> <li>報告書の内容をデータ化し、耐震化率等の各種統計資料を作成することにより、緊急輸送道路沿道建築物の耐震化が円滑に進むよう引き続き適切に業務を行っていく。</li> </ul>  |                            |    |    |         |            | 拡大<br>充実   | 見直し<br>再構築 | 移管<br>終了 | その他 |
|                   |                            | 28年度見積額   |                            |    |    |         |            | 8,003 千円   |            |          |     |
| 財務局評価             |                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震に関する専門的な知識や情報を有する本センターに、報告書の内容をデータ化し、統計資料作成を委託することは、緊急輸送道路沿道建築物の耐震化状況を把握し、耐震化に向けた取組を進めるために重要であることから、妥当である。</li> <li>引き続き、耐震化への取組を着実に実行していく必要があるため、見積額のとおり計上する。</li> </ul>  |                            |    |    |         |            | 拡大<br>充実   | 見直し<br>再構築 | 移管<br>終了 | その他 |
|                   |                            | 28年度予算額   |                            |    |    |         |            | 8,003 千円   |            |          |     |
| 6                 | 客船ターミナル及び船舶給水指定管理<br>(港湾局) | 団体名   | 東京港埠頭(株)・(株)東<br>京レポートセンター | 区分 | 委託 | 27年度予算額 | 615,290 千円 | 26年度決算額    | 615,289 千円 |          |     |
| 事業内容・<br>団体への支出理由 |                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>港湾局所管の客船ターミナル及び船舶給水施設については、平成18年度から指定管理者制度を導入し管理にあたっている。なお、竹芝客船ターミナルについては、施設の構造上の特殊性等から、東京港埠頭・レポートセンターグループに特命している。28年度は更新年度にあたる。</li> </ul>  |                            |    |    |         |            |            |            |          |     |
| 成果・決算状況等          |                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>対象施設：晴海客船ターミナル、竹芝客船ターミナル、有明客船ターミナル、青海客船ターミナル、船舶給水施設</li> <li>24年度決算：598,196千円、25年度決算：598,195千円、26年度決算：615,289千円、27年度予算：615,290千円</li> </ul>  |                            |    |    |         |            |            |            |          |     |
| 事業実施上の課題          |                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>客船ターミナルを供用開始した1990年代前半には多くの乗降者で賑わったが、他港の客船誘致の取組等により、近年は低い利用状況にある。また、各施設の供用年数も経過し、大規模な維持修繕が必要な時期を迎えている。(乗降者数実績：24年度116万人 25年度123万人 26年度127万人)</li> <li>船舶給水事業は、民間事業者では実施しておらず、利用者のニーズもあることから、安定的かつ継続的な事業実施が不可欠である。</li> </ul>   |                            |    |    |         |            |            |            |          |     |
| 見積概要<br>(局評価)     |                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>寄港数及び乗降者数は減少ピークを迎えた22年度(111万人)に比べ徐々に増加傾向にあり、更なる賑わい創出に向け指定管理者において様々な取組を積極的に行っているほか、日常的な管理及び維持補修等を適切に行っている。</li> <li>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催時には、晴海客船ターミナルについては東京2020大会関連施設としての活用、給水施設については制限区域にかかる予定などがあり、今後の運用形態は極めて不透明であることから、ノウハウの蓄積があり、柔軟な対応が可能な団体が望ましい。</li> </ul> |                            |    |    |         |            | 拡大<br>充実   | 見直し<br>再構築 | 移管<br>終了 | その他 |
|                   |                            | 28年度見積額   |                            |    |    |         |            | 652,694 千円 |            |          |     |
| 財務局評価             |                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020大会開催時には、利用区域の制限など通常とは異なる状況下で施設を運営する必要があることから、業務に精通し、関係者との調整も円滑に実施できる両事業者へ業務を委託することは妥当である。</li> <li>客船ターミナル運営及び船舶給水業務を引き続き適切に実施していくため、見積額のとおり計上する。</li> </ul>   |                            |    |    |         |            | 拡大<br>充実   | 見直し<br>再構築 | 移管<br>終了 | その他 |
|                   |                            | 28年度予算額   |                            |    |    |         |            | 652,694 千円 |            |          |     |

## 事業評価票（報告団体への支出予算）

|                      |                             |  |           |                |                |           |                |           |  |
|----------------------|-----------------------------|--|-----------|----------------|----------------|-----------|----------------|-----------|--|
| <b>7</b>             | <b>不当要求防止責任者講習業務委託（警視庁）</b> | <b>団体名</b><br>（公財）暴力団追放運動推進<br>都民センター  | <b>区分</b> | 委託             | <b>27年度予算額</b> | 21,550 千円 | <b>26年度決算額</b> | 20,979 千円 |  |
| <b>事業内容・団体への支出理由</b> |                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 暴対法第14条第2項に定める講習について、同法第32条の3第2項7号に基づき、本センターへの委託を行っている。</li> <li>・ 本講習は、暴力団により事業者に対する暴力的要求行為等不当な要求による被害を防止するため、事業者が選任した対応責任者に対して、具体的な対応要領に関する指導や助言等を目的としたものであり、その講習を実施するために十分な専門知識を有した団体である。</li> </ul> |           |                |                |           |                |           |  |
| <b>成果・決算状況等</b>      |                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成26年度は、各事業者が選任した責任者に対し、各種不当要求の被害防止対策と適切な対応要領等、同責任者として必要な知識技能を習得させるため、114回8,406名に対し講習を実施している。</li> </ul>  |           |                |                |           |                |           |  |
| <b>事業実施上の課題</b>      |                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京都暴力団排除条例が平成23年10月に施行され、官民一体となった暴力団排除の機運が高まる中、各事業者の取り組みも活発化し、同講習の必要性、重要性は益々高まっているが、時間的制約等により講習回数の増加は望めない。</li> </ul>   |           |                |                |           |                |           |  |
| <b>見積概要（局評価）</b>     |                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当庁と共同して、不当要求防止責任者講習事業を推進しており、前年度に引き続き、行政機関に対する講習を重点としたほか、金融機関や証券業者等への講習も充実させ、引き続き効果的な講習を実施していく。</li> </ul>  |           | 拡大<br>充実       | 見直し<br>再構築     | 移管<br>終了  | その他            |           |  |
|                      |                             |  |           | <b>28年度見積額</b> |                | 21,574 千円 |                |           |  |
| <b>財務局評価</b>         |                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 暴力的要求行為等の不当な要求による被害を防止するため、専門的知識が必要とされる本事業を、経験豊富な本センターに委託することは妥当である。</li> <li>・ 引き続き効果的な講習を実施していく必要があるため、所要額を計上する。</li> </ul>   |           | 拡大<br>充実       | 見直し<br>再構築     | 移管<br>終了  | その他            |           |  |
|                      |                             |  |           | <b>28年度予算額</b> |                | 21,702 千円 |                |           |  |